



2023年3月期第3四半期

決算説明資料

2023年1月27日

SGホールディングス株式会社

1.	2023年3月期 第3四半期決算概要	1 ~ 9
2.	2023年3月期 業績予想	10 ~ 14
3.	参考資料	15 ~ 21

2023年3月期第3四半期のハイライト

デリバリー事業では、当第3四半期の前半は経済社会活動の制限緩和やEC市場規模の拡大等を背景に、宅配便の取扱個数は堅調に推移したが、後半にかけては荷動きが鈍化。ロジスティクス事業では、サプライチェーンの混乱が招いた米国内での過剰な在庫水準の継続により、海上・航空貨物の取扱量は大幅に減少。一方、国内ではGOAL^{®(1)}による包括的なソリューション提案等により、新規案件を受託するなど堅調に推移。

● 業界関連

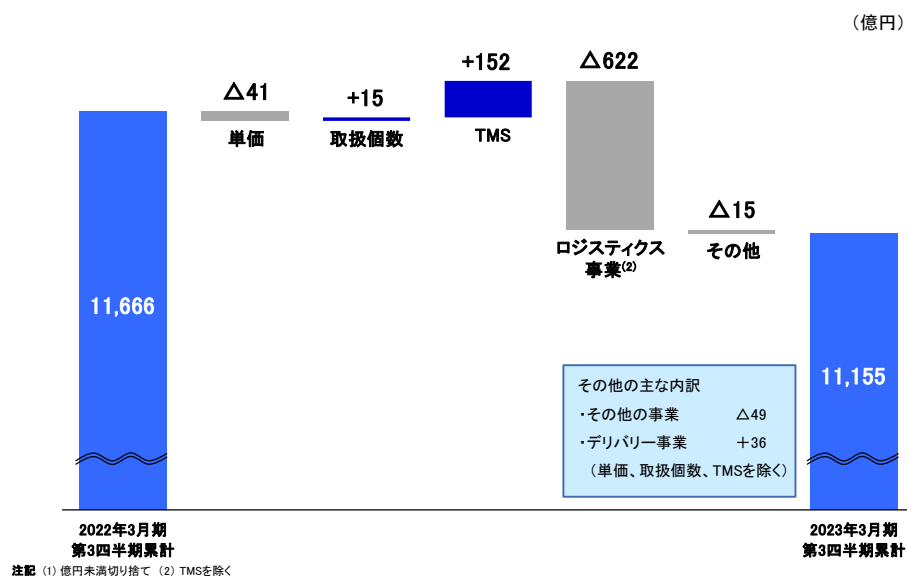
- ・ コロナ禍を契機とした新たな生活様式の定着化が進み、EC市場規模の拡大ペースは落ち着いてきたものの引き続き成長しており、小型貨物を中心に宅配便に対する高い需要は継続
- ・ 燃料・電力等のエネルギー関連費用や人件費、外注費等様々なコスト上昇圧力が増大
- ・ 世界経済の減速などに伴い、国際輸送の需要は縮小傾向、さらに海上運賃は急激に正常化が進行

● 当社業績の概況

- ・ 取扱個数は、当第3四半期の前半においては、経済社会活動の制限緩和やEC市場規模の拡大等を背景に堅調に推移したが、後半にかけては荷動きが鈍化
- ・ 平均単価は、適正運賃収受の取組みを継続しているが、大型荷物減少の影響によりわずかに低下
- ・ GOAL[®]の積極的な提案営業活動により、TMS⁽²⁾は引き続き堅調に推移
- ・ 海上・航空貨物の取扱量は、例年のような米国でのクリスマス商戦に向けたフォワーディング需要の盛り上がりが見られなかったことにより、大幅に減少

注記 (1)「GOAL[®]」はSGホールディングス株の登録商標 (2) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス

営業収益の増減分析



■ 実績（前年同期との比較）

- 平均単価 : 643 円 (△ 4円)
- 取扱個数 : 1,076百万個 (+ 2百万個)
- TMS : 912億円 (+ 152億円)

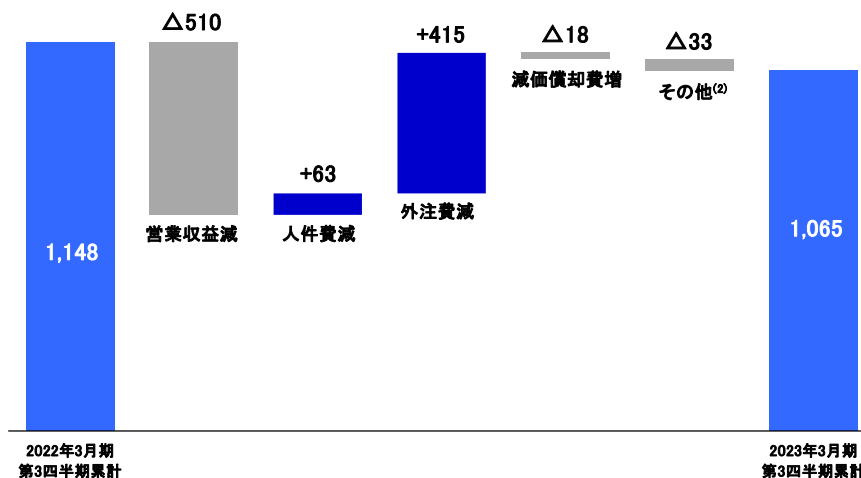
(参考) 稼働日前年増減 : 平日±0、土曜日±0、日曜祝日±0

■ エクスプランカ社（ロジスティクス事業）の実績

- 営業収益 : 1,868億円 (前年同期差 △697億円 前年同期比 72.8%)

営業利益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 主な費用の内訳

(億円)

科目	2023年3月期 第3四半期累計	前年同期差	前年同期比	主な要因
人件費	3,281	△ 63	98.1%	前期は見舞金の支給等
外注費	5,395	△ 415	92.9%	ロジスティクス事業の減収等
減価償却費	243	+ 18	108.4%	ソフトウェア、車両等
その他 (燃料費含む)	1,169	+ 33	102.8%	原油価格高騰に伴う燃料費、光熱費の増加等
合計	10,089	△ 428	95.9%	

セグメント別業績

(億円)	2022年3月期 第3四半期累計	2023年3月期 第3四半期累計	前年同期比
営業収益 合計	11,666	11,155	95.6%
デリバリー事業	7,904	8,023	101.5%
ロジスティクス事業	3,266	2,689	82.3%
不動産事業	56	54	96.8%
その他の事業	438	388	88.6%
営業利益 合計	1,148	1,065	92.8%
デリバリー事業	746	807	108.2%
ロジスティクス事業	311	179	57.6%
不動産事業	34	30	88.3%
その他の事業	35	34	97.4%
調整額	20	14	68.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

■ 主な営業利益の増減の内訳（前年同期との比較）

- デリバリー事業 : + 61億円
 - TMS、宅配便の取扱個数の増加
 - デジタイゼーション等効率化の取組み
 - 前期は見舞金を支給
- ロジスティクス事業 : △ 131億円
 - エクスポランカ社 : △ 144億円
- 不動産事業 : △ 4億円
 - 賃貸料収入の減少、税金及び一時費用の増加

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- 取扱個数は、当第3四半期の前半においては、経済社会活動の制限緩和やEC市場規模の拡大等を背景に堅調に推移したが、後半にかけては荷動きが鈍化
- 平均単価は、適正運賃収受の取組みを継続しているものの、大型荷物の取扱いが減少した影響によりわずかに低下
- TMSはGOAL[®]の積極的な提案営業活動により引き続き堅調に推移

ロジスティクス事業

- 海上・航空貨物の取扱量は、世界経済の減速などに伴い、大幅に減少
- 特に米国では、サプライチェーンの混乱が招いた過剰な在庫水準の継続により、クリスマス商戦に向けた取扱量が低調に推移
- 海上運賃は、当第3四半期で一段と下落が進行
- 国内では、GOAL[®]による包括的なソリューション提案等により堅調に推移

不動産事業

- 前期に実施した物件売却の影響もあり、賃貸料収入が減少したが計画通り進捗

その他の事業

- GOAL[®]でのトータルロジスティクス提案による物流IT案件の取引が増加
- 半導体不足等の影響により新車販売が減少

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目 (億円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	171	1,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 365	478
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	△ 193	1,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	247	△ 1,001
現金及び現金同等物の増減額	60	540
現金及び現金同等物の四半期末残高	752	1,414

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

■ 連結キャッシュ・フロー

・ <u>営業活動によるキャッシュ・フロー</u>		1,051億円
主な内容：		
税金等調整前四半期純利益		1,598億円
減価償却費		241億円
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△	141億円
為替差損益 (△は益)	△	30億円
売上債権の増減額 (△は増加)		241億円
仕入債務の増減額 (△は減少)	△	136億円
預り金の増減額 (△は減少)		138億円
投資有価証券売却損益 (△は益)	△	497億円
未払費用の増減額 (△は減少)		55億円
法人税等の支払額	△	490億円
・ <u>投資活動によるキャッシュ・フロー</u>		478億円
主な内容：		
有形固定資産の取得による支出	△	189億円
無形固定資産の取得による支出	△	50億円
投資有価証券の売却による収入		720億円
・ <u>財務活動によるキャッシュ・フロー</u>	△	1,001億円
主な内容：		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△	248億円
長期借入金の返済による支出	△	170億円
リース債務の返済による支出	△	51億円
エクスポランカ社株式の追加取得	△	112億円
配当金の支払額	△	366億円

連結貸借対照表

(億円)	2022年3月期末	2023年3月期 第3四半期	(億円)	2022年3月期末	2023年3月期 第3四半期
流動資産	3,896	4,214	負債	4,098	3,529
現金及び預金	873	1,414	買掛債務	937	817
営業債権及び その他の債権	2,478	2,302	有利子負債	1,352	948
棚卸資産	297	284	その他	1,808	1,763
その他流動資産	247	213			
固定資産	5,321	4,826	純資産	5,119	5,511
有形固定資産	3,872	3,900	親会社株主帰属分	4,963	5,376
のれん	23	22	非支配株主持分	155	134
その他固定資産	1,424	903			
資産合計	9,217	9,041	負債純資産合計	9,217	9,041

注記 (1) 億円未満切り捨て

■ 自己資本比率

- 自己資本比率：59.5%（前期末比 +5.7ポイント）

1.	2023年3月期 第3四半期決算概要	1 ~ 9
2.	2023年3月期 業績予想	10 ~ 14
3.	参考資料	15 ~ 21

2022年度～2024年度

中期経営計画

SGH Story 2024

<基本方針>

持続可能な成長を実現する
次世代の競争優位性創出

<重点戦略>

- ① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化
- ② 競争優位創出につながる経営資源の拡充
- ③ ガバナンスの更なる高度化

経営戦略

① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化

- 脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進
- TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化
- 国際・海外向けサービスの強化
- 宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

② 競争優位創出につながる経営資源の拡充

- アライアンスを含めた国内外輸送ネットワークの強化
- 人的資本への投資及びエンゲージメントの向上
- DXへの投資による競争優位の創出
- オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造

③ ガバナンスの更なる高度化

- グローバル化に対応したガバナンスの構築
- コンプライアンスの継続的な高度化

連結業績予想及び配当予想

(億円)		2022年3月期 実績	2023年3月期 前回業績予想 (2022年11月24日公表)	2023年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益		15,883	16,000	14,500	91%	91%
営業利益 (営業利益率)		1,557 (9.8%)	1,420 (8.9%)	1,340 (9.2%)	86%	94%
経常利益		1,602	1,430	1,370	85%	96%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,067	1,300	1,260	118%	97%
1株当たり 配当金	第2四半期末	20円	25円	25円	+1円	±0円
	期末	30円	26円	26円		
	合計	50円	51円	51円		

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2023年3月期業績予想の前提: デリバリー事業平均単価643円、取扱個数14.2億個

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

■ 通期業績予想（前回予想との比較）

第3四半期の業績と足元の状況を踏まえ、通期業績予想を修正

- 営業収益： Δ 1,500億円
- 営業利益： Δ 80億円
- 経常利益： Δ 60億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： Δ 40億円

- 平均単価： 643円（前期差 Δ 3円）前回予想差： Δ 4円
- 取扱個数： 14.2億個（前期比 100%）前回予想差： Δ 0.1億個
- TMS： 1,260億円（前期比 123%）

【参考】営業費用の内訳

- 人件費： 4,340億円（前期比 98%）前回予想差： Δ 20億円
- 外注費： 6,890億円（前期比 86%）前回予想差： Δ 1,400億円
- 減価償却費： 310億円（前期比 102%）前回予想差： \pm 0億円

セグメント別業績予想

(億円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 前回業績予想 (2022年10月28日公表)	2023年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益 合計	15,883	16,000	14,500	91%	91%
デリバリー事業	10,431	10,670	10,560	101%	99%
ロジスティクス事業	4,770	4,600	3,210	67%	70%
不動産事業	112	230	230	204%	100%
その他の事業	568	500	500	88%	100%
営業利益 合計	1,557	1,420	1,340	86%	94%
デリバリー事業	932	990	990	106%	100%
ロジスティクス事業	484	270	190	39%	70%
不動産事業	66	90	90	136%	100%
その他の事業	46	40	40	86%	100%
調整額	27	30	30	108%	100%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

■ セグメント別業績予想（前回予想との比較）

・ 営業収益	△ 1,500億円
デリバリー事業	△ 110億円
ロジスティクス事業	△ 1,390億円
不動産事業	± 0億円
その他の事業	± 0億円

・ 営業利益	△ 80億円
デリバリー事業	± 0億円
ロジスティクス事業	△ 80億円
不動産事業	± 0億円
その他の事業	± 0億円
調整額	± 0億円

・ ロジスティクス事業 業績予想の前提

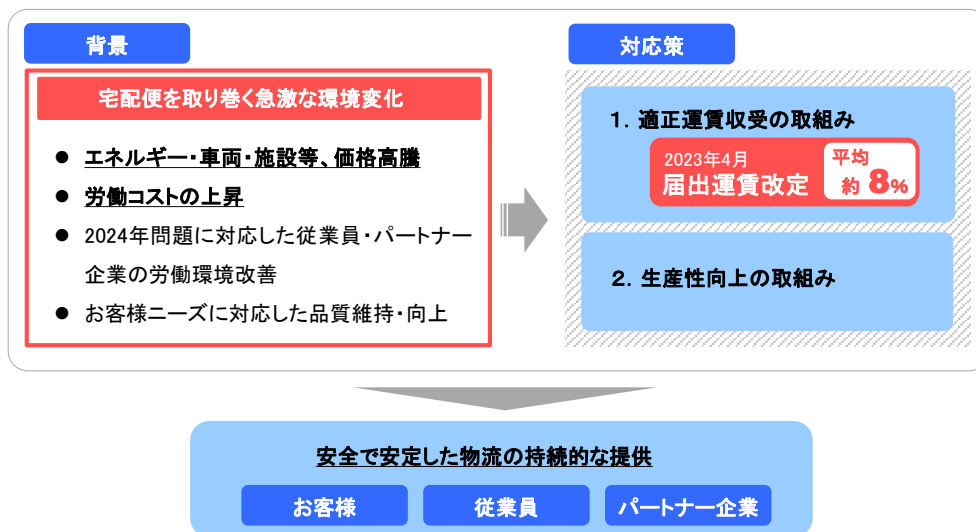
エクスポランカ社業績・取扱数量予想

業績	： 営業収益	2,110億円	（前期比	56%）
	： 営業利益	125億円	（前期比	28%）
取扱数量	： 航空	107 千t	（前期比	54%）
	： 海上	200 千TEU	（前期比	71%）

第4四半期の為替レートは1\$=130円で予想

佐川急便の届出運賃の改定について

- 2023年4月1日より、次の商品の運賃を改定
「飛脚宅配便(飛脚クール便含む)」、「飛脚特定信書便」、「飛脚ラージサイズ宅配便」



■ サイズごとの運賃改定のイメージ

サイズ	改定率
60～80	+10%
100～	+7%
平均	+8%

1.	2023年3月期 第3四半期決算概要	1 ~ 9
2.	2023年3月期 業績予想	10 ~ 14
3.	参考資料	15 ~ 21

連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
営業収益	3,869	111.3%	3,643	96.3%	3,642	82.7%
営業利益 (営業利益率)	332 (8.6%)	115.1%	308 (8.5%)	103.1%	424 (11.7%)	75.8%
経常利益	357	120.8%	307	105.3%	436	75.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	234	113.5%	285	148.7%	560	139.5%

注記 (1) 億円未満切り捨て

セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
営業収益 合計	3,869	111.3%	3,643	96.3%	3,642	82.7%
デリバリー事業	2,584	101.6%	2,589	102.4%	2,848	100.6%
ロジスティクス事業	1,140	148.0%	904	83.5%	643	45.5%
不動産事業	19	95.6%	17	97.9%	17	97.1%
その他の事業	124	88.4%	131	85.3%	132	92.4%
営業利益 合計	332	115.1%	308	103.1%	424	75.8%
デリバリー事業	219	108.5%	219	123.5%	368	100.6%
ロジスティクス事業	83	145.5%	61	68.5%	34	20.9%
不動産事業	10	74.9%	9	87.6%	10	108.5%
その他の事業	12	133.0%	12	83.8%	9	84.7%
調整額	6	114.2%	5	94.5%	1	20.3%

注記 (1) 億円未満切り捨て

エクスポランカ社の実績

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
営業収益	877	164.5%	625	74.8%	366	30.6%	1,868	72.8%
営業利益	71	164.5%	43	53.7%	16	11.1%	132	47.8%
航空 数量(千t) ⁽²⁾	32	76.7%	29	49.0%	24	42.9%	87	54.2%
海上 数量(千TEU) ⁽²⁾	78	109.2%	50	69.8%	37	56.3%	167	79.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
取扱個数合計	352	101.3%	347	101.1%	377	98.4%	1,076	100.2%
飛脚宅配便 ^{②(2)(4)}	339	101.6%	334	101.4%	363	98.6%	1,037	100.5%
その他 ⁽³⁾	13	94.9%	12	94.3%	13	93.3%	39	94.1%
平均単価	640	99.2%	643	99.3%	647	99.7%	643	99.4%

e-コレクト^④ 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
個数	17	86.2%	16	91.8%	17	93.2%	50	90.3%
決済金額	1,991	87.5%	1,943	93.3%	2,200	95.4%	6,135	92.1%

TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
売上高	286	120.7%	306	119.1%	319	120.3%	912	120.0%

注記 (1) 徳丹未滿切り捨て (2) 飛脚宅配便は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便^④及びその他の会社の取扱個数
(4) 「飛脚宅配便」、「飛脚ラージサイズ宅配便」、「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
営業費用 合計	3,536	111.0%	3,335	95.7%	3,218	83.7%	10,089	95.9%
人件費	1,106	101.3%	1,077	96.7%	1,096	96.4%	3,281	98.1%
外注費	1,979	119.4%	1,781	93.3%	1,634	72.8%	5,395	92.9%
燃料費	32	119.7%	34	110.5%	32	101.9%	99	110.2%
減価償却費	80	110.7%	80	108.1%	82	106.5%	243	108.4%
その他経費	338	100.4%	360	101.2%	370	104.8%	1,069	102.2%

デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比
営業費用 合計	2,485	101.3%	2,491	101.0%	2,606	101.0%	7,583	101.1%
人件費	926	98.6%	894	93.7%	913	95.6%	2,735	96.0%
外注費	1,215	103.2%	1,241	106.1%	1,331	104.6%	3,788	104.6%
燃料費	31	118.7%	34	110.2%	32	101.0%	97	109.4%
減価償却費	54	105.7%	53	101.7%	55	102.9%	163	103.4%
その他経費	257	99.9%	267	103.6%	273	102.6%	798	102.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、拠点)		2022年3月期末	2023年3月期 第3四半期末
連結従業員数	合計	96,536	94,415
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(44,211)	(41,957)
デリバリー事業		78,073	75,542
		(34,862)	(32,541)
ロジスティクス事業		13,466	13,840
		(6,992)	(7,042)
不動産事業		72	91
		(-)	(-)
その他の事業		4,179	4,214
		(2,148)	(2,190)
全社(共通)		746	728
		(209)	(184)
佐川急便	車両台数	26,742	26,850
	主な拠点数	873	859
	中継センター	23	22
	営業所	429	428
	小規模店舗 ⁽²⁾	421	409

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、EC市場の低成長、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。